



Ideas & Chemistry

2016.11.10

2016年度第2四半期決算 補足資料



東洋紡株式会社

決算のポイント

上期実績

- 営業利益は 107億円(1.5%増)にとどまり、当期純利益は減益
- アクリル繊維やバグフィルター用PPS素材が、中国向けで苦戦。
また、ブラジル繊維事業は、環境変化を踏まえ、休止を決定
- 一方、成長ドライバーの“コスモシャインSRF”は、大幅増収

通期予想

原料価格低下や新製品の拡大あるも、中国景気の影響など
市場環境に不透明感あり、通期予想を下記の通り修正する

	15年度			16年度			直近予想 (2016/8)
	上期	下期		上期	下期		
売上高	1,797	1,681	3,478	1,647	1,753	3,400	3,600
営業利益	105	126	231	107	123	230	250
特別損失	11	38	49	33	19	52	40
親会社株主に帰属 する当期純利益	54	48	101	37	63	100	130

I . 2016年度第2四半期決算概況

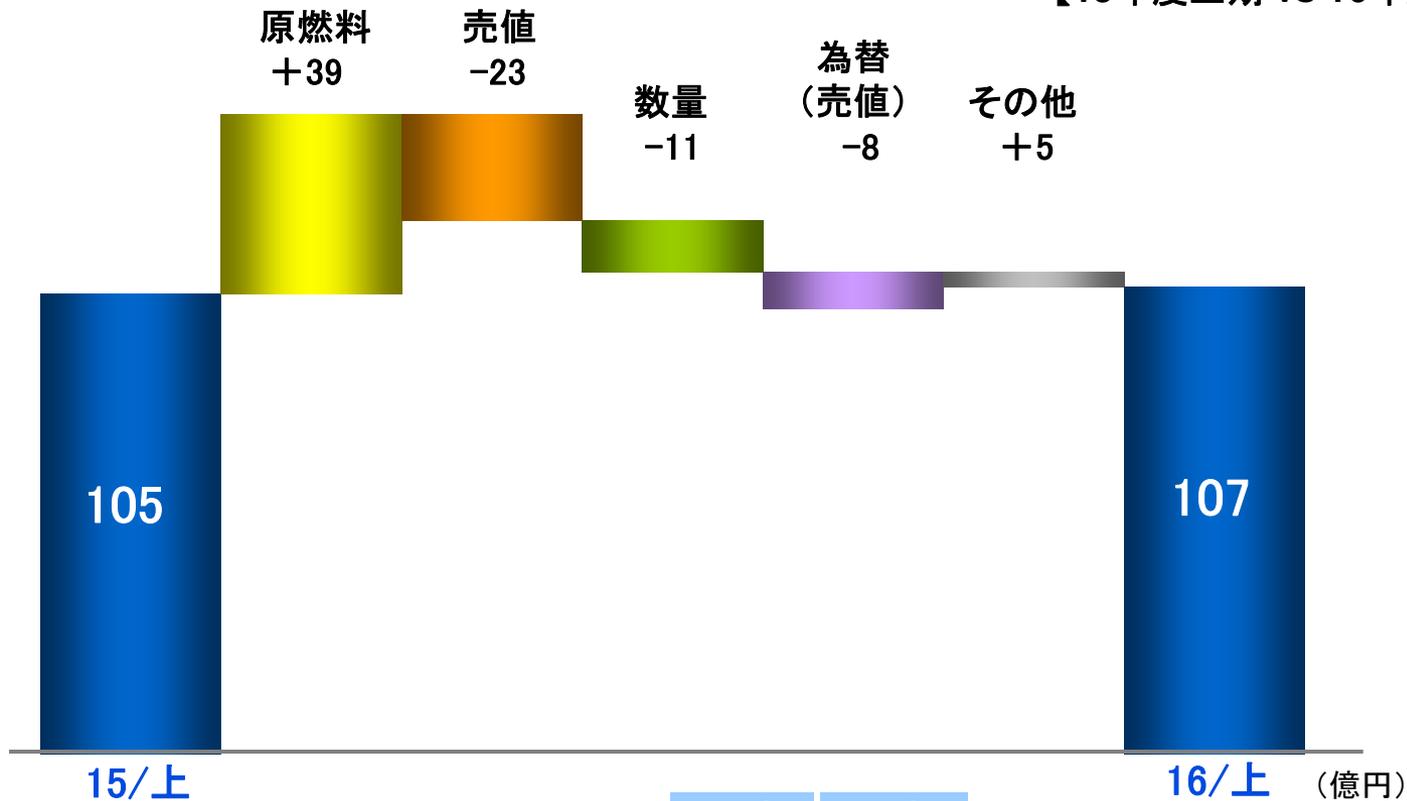
(1) 決算概要 ①PL・CF

(億円)

	15上	15下	16上	前年同期比		直近予想 (2016/8)
				金額	率	
売上高	1,797	1,681	1,647	-150	-8.4%	1,700
営業利益	105	126	107	+2	+1.5%	120
(率)	5.8%	7.5%	6.5%	-	-	7.1%
経常利益	97	107	87	-9	-9.4%	110
特別損失	11	38	33	+22	+197.3%	40
親会社株主に帰属する 当期純利益	54	48	37	-17	-31.7%	60
EPS(円)	6.0	5.4	4.1	-	-	
減価償却費	71	73	73	+2	+2.9%	
設備投資	73	100	78	+5	+7.4%	
営業CF	129	194	106	-23	-17.9%	
為替レート(円/US\$)	122	118	105			
国産ナフサ価格(千円/KL)	48	38	32			

営業利益増減要因分析（前年同期比）

【15年度上期 vs 16年度上期】



	15上	16上
円レート (¥/\$)	122	105
国産ナフサ (千円/kl)	48	32

②BS

	15/3末	16/3末	16/9末	(億円) 16/3末比 増減
総資産	4,658	4,446	4,439	-7
現預金	206	203	280	+77
棚卸資産	824	753	729	-24
純資産	1,611	1,601	1,586	-15
自己資本	1,580	1,569	1,555	-14
(利益剰余金)	325	395	401	+6
(為替換算調整勘定)	-75	-107	-124	-16
非支配株主持分	31	32	31	-1
有利子負債	1,771	1,654	1,734	+80
D/E レシオ	1.12	1.05	1.11	

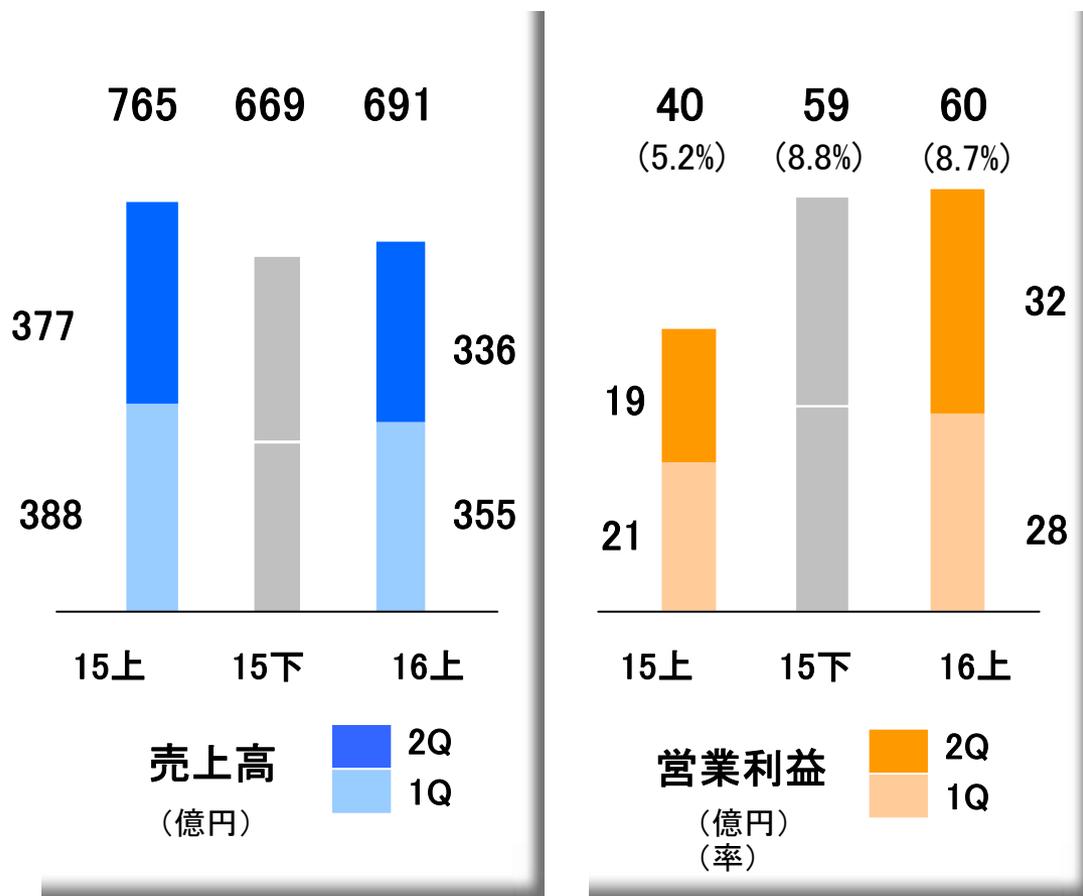
(2) セグメント別

(億円)

	売上高			営業利益			前年同期比
	15上	15下	16上	15上	15下	16上	
フィルム・機能樹脂	765	669	691	40	59	60	+20
産業マテリアル	353	352	324	32	30	20	-12
ヘルスケア	135	143	145	21	26	19	-2
繊維・商事	438	416	398	12	13	4	-7
不動産・その他	105	101	89	15	14	17	+3
消去・全社	-	-	-	-15	-17	-15	+0
合 計	1,797	1,681	1,647	105	126	107	+2

① フィルム・機能樹脂

包装用フィルムは、原燃料価格下落を受け減収
工業用フィルムは、製品ポートフォリオ改革進む



● 包装用フィルム

- ・需給バランス堅調
- ・生産設備の最適化進む

● 工業用フィルム

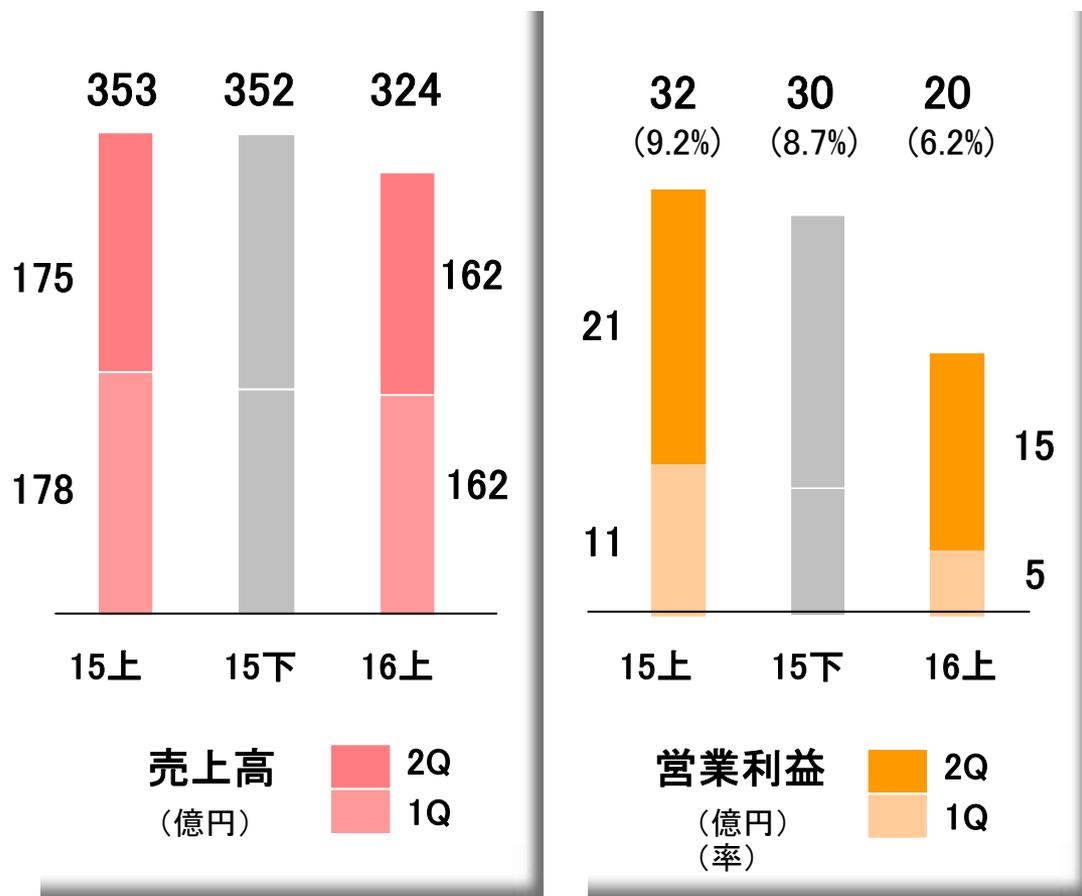
- ・コスモシャインSRFは、大手偏光板メーカーへ出荷拡大

● 機能樹脂

- ・ハードレンは、自動車塗料・インキ用途で販売好調
- ・エンプラは、海外で数量増

② 産業マテリアル

スーパー繊維は堅調。エアバッグ用基布は、海外展開準備進む
 バグフィルター用PPS素材が、中国向けで苦戦



● スーパー繊維

・イザナスは、ロープ・釣り糸用途が堅調

● 機能フィルター

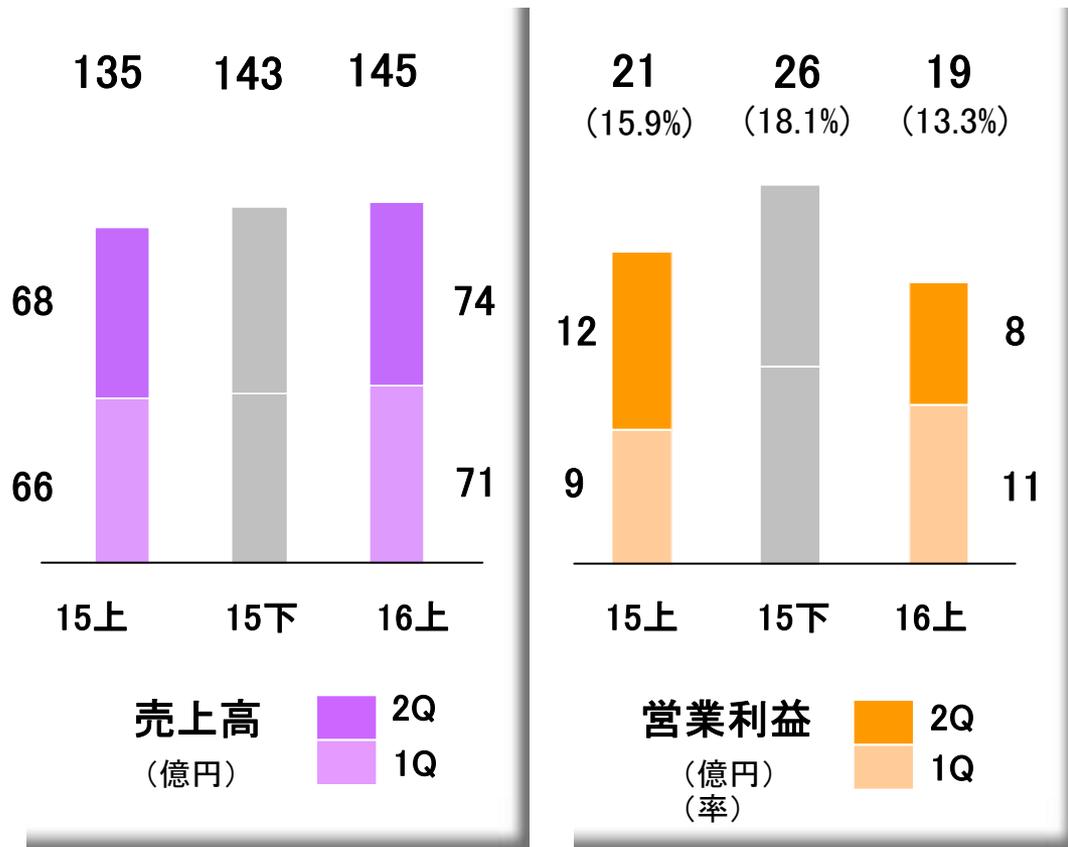
・VOC処理装置は、ユーザーの設備投資遅れの影響を受ける

● エアバッグ用基布

・世界四極供給体制の整備進む

③ ヘルスケア

バイオ事業は、出荷堅調も為替の影響大
機能膜事業は、中東での受注遅れ



● バイオ

- ・診断薬用酵素は為替影響あり
- ・ライフサイエンス試薬・診断システムは、好調

● 医薬

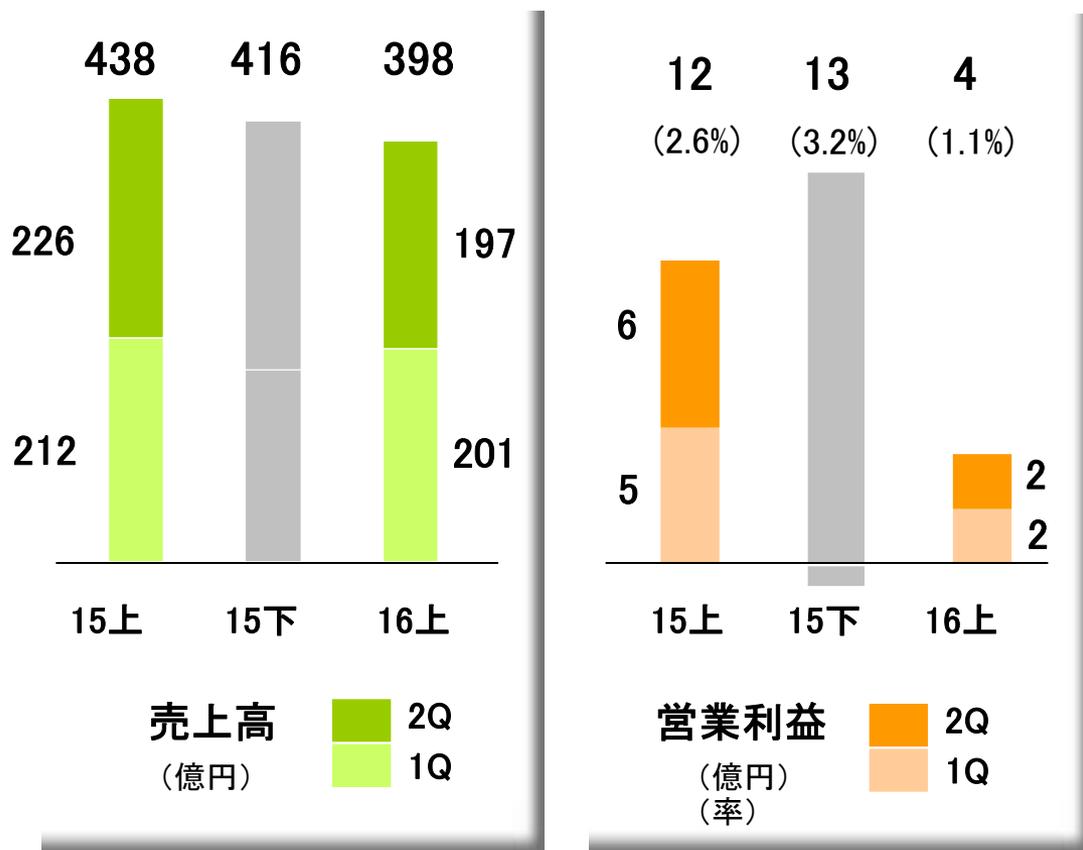
- ・医薬品製造受託は、回復傾向

● 機能膜

- ・アクア膜が中東での受注遅れ

④ 繊維・商事

中東向けトープは、数量拡大も為替の影響あり
 アクリル繊維は、中国のアンチダンピング政策を受け苦戦



● 東洋紡STC(繊維)

- ・中東向けトープは、数量増も為替の影響あり

● アクリル繊維

- ・中国市況の軟化に加え、アンチダンピング政策の影響あり

● ブラジル繊維事業

- ・環境変化を踏まえ休止決定

Ⅱ. 2016年度業績予想

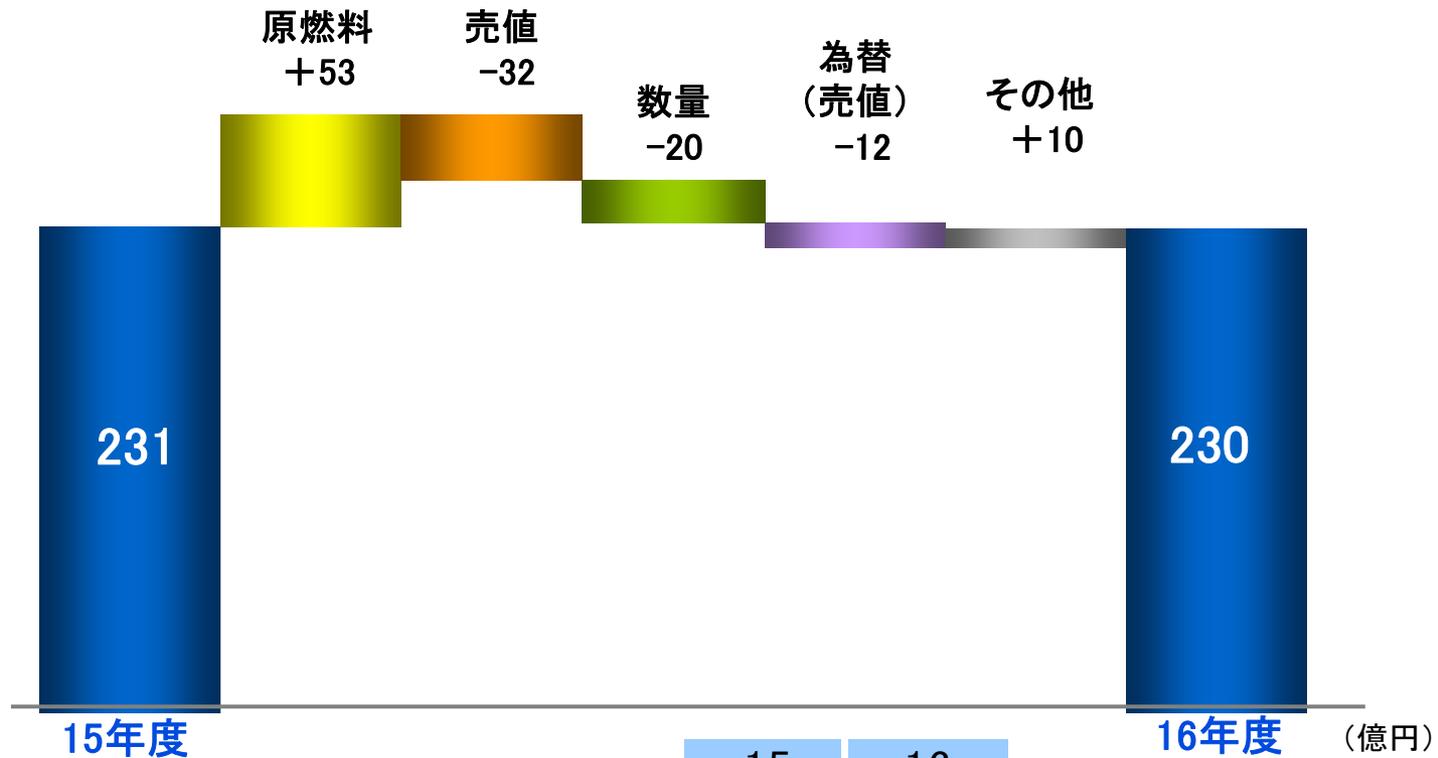
(1) 業績予想

(億円)

	15年度実績	16年度予想			増減		直近予想 (2016/8)
		上	下		金額	率	
売上高	3,478	1,647	1,753	3,400	-78	-2.2%	3,600
営業利益	231	107	123	230	-1	-0.5%	250
(率)	6.6%	6.5%	7.0%	6.8%	-	-	6.9%
経常利益	204	87	113	200	-4	-1.9%	230
特別損失	49	33	19	52	+3	+6.8%	40
親会社株主に帰属する 当期純利益	101	37	63	100	-1	-1.5%	130
EPS(円)	11.4	4.1	7.1	11.3	-	-	14.6
減価償却費	144	73	77	150	+6	+3.9%	150
設備投資	173	78	102	180	+7	+3.8%	180
為替レート(円/US\$)	120	105	103	104			115
国産ナフサ価格(千円/KL)	43	32	33	32			43

営業利益増減要因予想

【15年度→16年度】



	15	16
円レート (¥/\$)	120	104
国産ナフサ (千円/kl)	43	32

(2) セグメント別予想

(億円)

	売上高				営業利益				直近予想 (2016/08)
	15年度	16年度予想			15年度	16年度予想			
		上期	下期			上期	下期		
フィルム・機能樹脂	1,434	691	733	1,424	99	60	65	125	115
産業マテリアル	705	324	346	670	63	20	33	53	69
ヘルスケア	277	145	147	292	47	19	26	45	52
繊維・商事	855	398	409	807	25	4	4	8	18
不動産・その他	206	89	118	207	28	17	13	31	28
消去・全社	-	-	-	-	-32	-15	-17	-32	-32
合計	3,478	1,647	1,754	3,400	231	107	123	230	250

コンプライアンスの徹底



(渋沢栄一揮毫)

- 「順理則裕」(りにしたがえば、すなわちゆたかなり)
- 当社グループは、「順理則裕」の企業理念のもと、「順理」すなわち「道理に従って、合理的・論理的に考え、行動すること」を基本姿勢としています。

ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社